

文部科学大臣杯 第47回全日本大学女子ソフトボール選手権大会

□ ★ 第1日目 :【9月1日(土)】 第1回戦

E球場:毛呂山町大類ソフトボールパークA 第1試合 8:33 ~ 9:47 【試合時間 1時間14分】

No.1		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	5回コールド
金沢学院大学		0	0	0	0	0						0	●徳原 萌、小西由依、大和未沙一酒匂愛美
園田学園女子大学		0	2	2	5	x						9	○泉 礼花、池田美樹一清原奈侑、岡恵利華

【先攻】――

【後攻】(三)山口めぐみ(二)野上綾香、大和未沙、亀井愛梨

【戦評】

園田学園大は、2回二死二・三塁の好機に野上の二塁打で2点を先制、続く3回にも4連続安打で2点を追加した。4回にも打者一巡の攻撃で5点を加えた。泉、池田の継投で完封勝利し2回戦に進んだ。
金沢学院大は、打線が振るわず敗れた。

□ ★ 第1日目 :【9月1日(土)】 第1回戦

E球場:毛呂山町大類ソフトボールパークA 第2試合 10:18 ~ 12:18 【試合時間 2時間00分】

No.2		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
中京大学		0	1	0	0	0	0	0				1	●長谷川朋子一荒屋えりか
早稲田大学		0	0	0	0	1	0	1x				2	森下 藍、○後藤めい一鬼澤麻純

【先攻】(三)塚本智名

【後攻】――

【戦評】

早稲田大は5回、敵失と2安打で同点とすると、森下、後藤の継投で相手打線の反撃をしのぎながら迎えた7回裏、一死満塁の絶好機に北村のセンターへの飛球で三塁走者が還り、サヨナラ勝ち。中京大は、4回一死三塁の加点機を逃したことも響き惜敗した。

□ ★ 第1日目 :【9月1日(土)】

E球場:毛呂山町大類ソフトボールパークA 第3試合 12:46 ~ 13:56 【試合時間 1時間10分】

No.3		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	5回コールド
東京学芸大学		0	0	0	0	0						0	●枝元香菜子、天野志保一大道 茜
日本福祉大学		0	4	3	3	x						10	○宇野かんな一新海真里奈

【先攻】(二)滋野真優

【後攻】(三)吉川侑里(二)宇野かんな

【戦評】

日本福祉大は2回、敵失と4本の長短打で4点を先制、3回にも3本の安打と四球に敵失を絡めて3点を加え、続く4回にもさらに3点加点した。この得点を、主戦宇野が2安打完封で抑え勝利した。東京学芸大は、毎回のようには塁上に走者を出したものの、守備の乱れもあり敗れた。

□ ★ 第1日目 :【9月1日(土)】

E球場:毛呂山町大類ソフトボールパークA 第4試合 15:49 ~ 17:35 【試合時間 1時間46分】

No.4		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
城西大学		0	0	0	0	0	1	0				1	●田上沙也加、金澤麻美一保崎麻優
大阪大谷大学		0	0	2	0	0	0	x				2	○竹田有沙一森下 舞

【先攻】(三)鮎澤 愛

【後攻】――

【戦評】

大阪大谷大は、3回一死二・三塁から松永のバント安打でまず1点、上片野の内野安打で満塁とすると、樽谷が四球を選び1点を加え、都合2点を先取した。このリードを竹田投手が1失点の好投で守って勝利。城西大は、追う6回、地元の大声援にもあって1点を返したが、及ばず惜敗した。3回二死三塁の先制機を逸したのが痛かった。

文部科学大臣杯 第47回全日本大学女子ソフトボール選手権大会

□ ★ 第1日目 :【9月1日(土)】

F球場:毛呂山町大類ソフトボールパークB 第4試合 16:40 ~ 19:53 【試合時間 2時間13分】

No.5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
日本体育大学	0	0	0	1	0	1	1				3	○三木綾菜-澤井美佑
立命館大学	0	0	0	0	0	0	0				0	●加藤あずさ-山澤 葵

【先攻】(二)二階堂夏帆

【後攻】(三)澤井 翠

【戦評】

日本体育大は4回、走者一・二塁として敵失で1点を先制。6回には二階堂の二塁打と松畑の右前安打で1点、続く7回も死球と2連続安打で1点を追加し優位に試合を進めた。立命館大は走者を出すものの、日本体育大の主戦三木に要所を抑えられ、好機にあと一本が出ず得点できなかった。

□ ★ 第1日目 :【9月1日(土)】

F球場:毛呂山町大類ソフトボールパークB 第3試合 12:55 ~ 14:40 【試合時間 1時間45分】

No.6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
天理大学	0	0	0	1	0	0	0				1	●石田真子、酒江夏葉-佐藤亜紀子
東北福祉大学	0	2	0	1	0	0	x				3	○五味彩華-清水菜一子

【先攻】--

【後攻】(本)高橋普喜

【戦評】

東北福祉大は、2回、高橋の本塁打で2点を先行。4回には安打、盗塁、犠牲バントで走者を進め、酒井のライト前タイムリーで1点を加えると、主戦五味が1安打1失点に抑え勝利した。天理は、1安打と打線が振るわず敗れた。

□ ★ 第1日目 :【9月1日(土)】 第1回戦

F球場:毛呂山町大類ソフトボールパークB 第2試合 10:51 ~ 12:27 【試合時間 1時間36分】

No.7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
日本文理大学	0	2	1	0	1	0	0				4	○馬場麻里-松本 怜
東京国際大学	0	0	0	0	0	2	0				2	●井本妃里、金井里奈-降矢 香

【先攻】(二)隅田朋子、北川愛莉

【後攻】(二)大谷安奈

【戦評】

日本文理大は、2回二死二・三塁から百瀬の中前安打で2点を先制。3回にも二塁打と犠打、敵失で1点を加えた。5回一死二塁には北川の右翼線を抜く二塁打で1点を追加した。主戦馬場が相手の反撃を2点に抑え勝利した。東京国際大は追う6回、地元の大応援を背に、2点を返してなおも無死一・二塁と攻めたがあと一本が出ず敗れた。

□ ★ 第1日目 :【9月1日(土)】 第1回戦

F球場:毛呂山町大類ソフトボールパークB 第1試合 8:31 ~ 10:26 【試合時間 1時間55分】

No.8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
富士大学	2	3	0	0	0	1	0				6	榎林茉実○佐藤麻衣子-郷間智美
神戸親和女子大学	0	0	3	0	1	1	0				5	篠山彩夏、●竹沢史織-佐藤友麻

【先攻】(二)熊ヶ谷まどか、伊藤さや香

【後攻】(二)永沢杏奈、佐野由貴美

【戦評】

富士大は、初回二死一・二塁の好機に熊ヶ谷の二塁打で2点を先制、2回にも安打と犠牲フライで3点を追加、6回大村が右中間を破る二塁打で出塁、木村の左前安打で追加点を挙げた。榎林、佐藤の継投で勝利した。神戸親和女子大は1点差まで追いつける攻撃をしたが一步及ばず敗れた。

文部科学大臣杯 第47回全日本大学女子ソフトボール選手権大会

□ ★ 第1日目 :【 9月1日(土) 】 第1回戦

G球場:東松山市駒形公園ソフトボール場A 第1試合 8:59 ~ 10:17 【 試合時間 1時間18分 】

No.9	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
鈴鹿国際大学	5	2	0	0	0	0	0				7	○平木綾佳-近田知実
福岡大学	0	0	3	0	0	0	0				3	●福田夏紀-野中めぐみ

【先攻】(三)宮澤早紀(二)宮崎早紀・西井春菜

【後攻】(二)野中めぐみ・河野多喜

【戦評】

鈴鹿国際大は初回、先頭打者の三塁打を含め集中5安打で5点を先制。2回にも2点を加えてリードを広げ、福岡大の反撃を退け初戦を飾った。福岡大も3回3長短打で3点を返し、最終回満塁の好機を生かすことができなかった。

□ ★ 第1日目 :【 9月1日(土) 】 第1回戦

G球場:東松山市駒形公園ソフトボール場A 第2試合 10:53 ~ 12:30 【 試合時間 1時間37分 】

No.10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
淑徳大学	0	0	1	0	0	0	0				1	○樋口麻知子-小島晶子
IPU・環太平洋大学	0	0	0	0	0	0	0				0	●岡野文香-永溝早紀

【先攻】(二)樋口麻知子

【後攻】--

【戦評】

淑徳大は、3回に二塁打の樋口が野選で還った1点を守りきり、2回戦に駒を進めた。IPU・環太平洋大は、樋口投手の前に1安打に抑えられて惜敗、姿を消した。

□ ★ 第1日目 :【 9月1日(土) 】 第1回戦

G球場:東松山市駒形公園ソフトボール場A 第3試合 12:56 ~ 14:46 【 試合時間 1時間20分 】

No.11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	5回コールド
東京女子体育大学	0	2	7	4	3						16	○平原かすみ・工藤奈都美・寺川亜美・上野真友美・山保彩
中国学園大学	0	0	0	2	0						2	●濱口麻美伊・竹井沙那香-信保由加里

【先攻】(本)山本絵梨奈(三)林由香里・山本絵梨奈・山田美樹・(二)飯塚眞弓・山本絵梨奈・北原史織②・青木茜・山

【後攻】--

【戦評】

打撃に勝る東京女子体育大は、10本の長打など16安打の猛攻で、3回の打者11人・7安打7点を含め、大量16点を挙げてコールド勝ち。中国学園大は4回に2点を取って追撃するも届かず。

□ ★ 第1日目 :【 9月1日(土) 】 第1回戦

G球場:東松山市駒形公園ソフトボール場A 第4試合 15:13 ~ 17:01 【 試合時間 1時間48分 】

No.12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
環太平洋大学短期大学部	0	0	0	0	1	0	0				1	●川内彩加・谷島花波-山下亜依美
関東学園大学	0	0	0	2	0	0	x				2	○池沢織乃-福田裕香

【先攻】(二)川口茉維・矢野晴佳

【後攻】--

【戦評】

関東学園大は4回に一死二・三塁から7番石塚のタイムリーで2点を先制。環太平洋大短大の反撃を抑え逃げ切った。環太平洋大短大は5回、八番川口の二塁打で1点を返すが後続を断たれ惜敗した。

文部科学大臣杯 第47回全日本大学女子ソフトボール選手権大会

□ ★ 第1日目 :【 9月1日(土) 】 第1回戦

H球場: 鶴ヶ島市運動公園メイングラウンド 第4試合 14:18 ~ 15:57 【 試合時間 1時間39分 】

No.13		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	国土館大学	0	0	0	0	0	0	0				0	●吉田千紘-矢内麻美
	武庫川女子大学	1	0	1	0	0	0	X				2	○内海花菜、穴澤早貴恵-吉田美姫

【先攻】(二)田中美紀

【後攻】(本)川口藍(二)伊藤淳美

【戦評】

武庫川女子大は初回、先頭打者・川口の本塁打で先制。3回にも1点を加えて試合をリードし、投手の完封リレーで2回戦進出を決めた。国土館大は3回、3・4番が連続安打し、反撃を試みるも得点ならず。好調の武庫川の投手陣を打ち崩せずに敗れた。

□ ★ 第1日目 :【 9月1日(土) 】 第1回戦

H球場: 鶴ヶ島市運動公園メイングラウンド 第3試合 12:12 ~ 13:45 【 試合時間 1時間33分 】

No.14		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	松本大学	0	0	0	0	0	0	0				0	●山越葉奈、高橋千波-田島梨恵
	龍谷大学	1	0	1	0	0	0	X				2	○始澤菜摘-田井静華

【先攻】(二)山崎奈美佳

【後攻】(本)田井静華

【戦評】

龍谷大は初回、一死満塁で5番浦野のタイムリーで先制。3回には4番田井が左越本塁打で追加点を入れ、試合を優位に進めると、始澤投手も力投。投打がかみ合って、2回戦進出を決めた。松本大は、毎回のように安打を放つも散発に終わり無得点。相手投手を打ち崩すことができず惜敗した。

□ ★ 第1日目 :【 9月1日(土) 】 第1回戦

H球場: 鶴ヶ島市運動公園メイングラウンド 第2試合 10:28 ~ 11:45 【 試合時間 1時間17分 】

No.15		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	5回コールド
	山口福祉文化大学広島校	0	0	0	0	0						0	●久留間由麻、中原唯-矢野沙紀
	山梨学院大学	1	3	2	3	X						9	○畑迫遼子、酒井彩好-妹山玲奈

【先攻】---

【後攻】(本)轟優花、高木奈々(三)森田紀代美、寺門千奈美、吉井美優、岩寄 楓

【戦評】

山梨学院大は初回到1点を先制、2回にも森の2ランなどで3点を加えると、3回・4回にも、長打5本を含む7安打で攻撃の手を休めず、試合を決めた。山口福祉文化大広島校は、初回・2回に1本ずつ安打を放つも、得点に結びつかず苦しい試合展開。5回には先頭打者が四球で出塁、二進して本塁を窺ったが、得点に至らず敗れた。

□ ★ 第1日目 :【 9月1日(土) 】 第1回戦

H球場: 鶴ヶ島市運動公園メイングラウンド 第1試合 8:22 ~ 10:00 【 試合時間 1時間38分 】

No.16		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	東海学園大学	0	0	0	0	1	0	1				2	○河津かおり-久保亜希美
	東京富士大学	0	1	0	0	0	0	0				1	●小林楓、森崎愛理-荻野みなみ

【先攻】(二)古海香穂、吉田沙織、平松美妃

【後攻】(二)田口美佳

【戦評】

東海学園大は1点を追う5回に死球と二塁打で同点とし、最終回、平松の二塁打と金子のタイムリーで勝ち越し点を挙げて勝利した。東京富士大は2回、田口の二塁打で先行するも、3回以降加点できず敗れた。

文部科学大臣杯 第47回全日本大学女子ソフトボール選手権大会

□ ★ 第2日目 :【9月2日(日)】 第2回戦

H球場:鶴ヶ島市運動公園メイングラウンド 第1試合 8:55 ~ 10:36 【試合時間 1時間41分】

No.17		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
園田学園女子大学		0	0	3	0	0	0	0				3	○泉礼花-清原奈侑
早稲田大学		0	1	0	0	0	0	0				1	●森下藍、後藤めい-鬼澤麻純

【先攻】(三)知念千香、胡子路代、清原奈侑

【後攻】(三)三浦由華子

【戦評】

園田学園女子大は3回、三塁打2本等で3点を挙げて逆転に成功し、このリードを最後まで守り切って準々決勝進出を決めた。早稲田大は2回、先制点を挙げたが、逆転された後は、泉投手を攻めあぐんで惜敗した。

□ ★ 第2日目 :【9月2日(日)】 第2回戦

中断 1時間30分

H球場:鶴ヶ島市運動公園メイングラウンド 第2試合 11:03 ~ 13:54 【試合時間 2時間51分】

No.18		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
日本福祉大学		0	0	0	0	0	0					0	●宇野かな-新海真里奈
大阪大谷大学		2	0	3	0	1	1x					7	○竹田有沙、辻恭香-森下舞

【先攻】(二)宇野かな、田中唯

【後攻】(三)上片野麻衣② (二)森下舞②

【戦評】

大阪大谷大は、初回上片野の三塁打と森下の二塁打で2点を先制。3回には2本の適時打などで3点を加点した。途中、1時間30分にわたる中断があったものの、5・6回にも1点ずつを加え、コールド勝ち。日本福祉大学は、毎回得点の機会は得るものの適時打が出ず敗れた。

□ ★ 第2日目 :【9月2日(日)】 第2回戦

G球場:東松山市駒形公園ソフトボール場A 第2試合 11:06 ~ 12:45 【試合時間 1時間39分】

No.19		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
東北福祉大学		0	0	0	0	0	0	0				0	●五味彩華-清水菜々子
日本体育大学		0	0	0	1	2	0	x				3	○三木綾菜-澤井美佑

【先攻】--

【後攻】(二)渡邊みちか②

【戦評】

日本体育大は、4回一死二塁から4番二階堂のタイムリーで先制。5回二死一・二塁から3番渡邊の二塁打で2点を加えて試合を優勢にすすめた。三木投手がこのリードを散發3安打の好投で守って勝利。東北福祉大は4回に二死ながら連打で好機を作るも得点できず。最終回も内野安打で反撃を期したが、及ばず涙をのんだ。

□ ★ 第2日目 :【9月2日(日)】 第2回戦

G球場:東松山市駒形公園ソフトボール場A 第1試合 8:54 ~ 10:38 【試合時間 1時間44分】

No.20		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
日本文理大学		1	0	1	0	0	0	0				2	●馬場麻里-松本 怜
富士大学		0	1	0	0	1	5	x				7	○榎林菜実、佐藤麻衣子-郷間智美

【先攻】(三)百瀬 篠

【後攻】(本)(三)桐生彩香(二)桐生彩香、郷間智美

【戦評】

中盤までシーソーゲームを展開し同点で迎えた6回裏、富士大は打者11人・桐生の三塁打を含め6長短打を集中し、一挙5点を挙げて勝ち越しに成功すると、7回表の反撃を退けて快勝。準々決勝にコマを進めた。日本文理大は、先制し、一度は勝ち越すなど終盤まで互角の戦いをすすめたが、再び勝ち越すことはできなかった。

文部科学大臣杯 第47回全日本大学女子ソフトボール選手権大会

□ ★ 第2日目 :【9月2日(日)】 第2回戦

F球場:毛呂山町大類ソフトボールパークB 第1試合 8:56 ~ 11:14 【試合時間 2時間18分】

No.21		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
鈴鹿国際大学		2	0	0	0	0	0	0				2	●平木綾佳、三井綺乃、平木綾佳一西井春菜
淑徳大学		1	2	0	0	5	0	x				8	○樋口麻知子一小嶋晶子

【先攻】(二)西井春菜、宮澤早紀

【後攻】(本)小嶋晶子(二)牧野絵梨加③、清水美峰湖

【戦評】

淑徳大は1点リードされた2回、牧野の二塁打を足がかりに2点を加えて逆転に成功。5回には小嶋の本塁打を口火に打線が爆発、打者11人の猛攻で5点を挙げた。投げては、樋口が要所を締めて勝利。鈴鹿国際大は、初回に4安打で2点を先制。しかし2回以降は9本の安打を放つものの本塁が遠く、最終回も満塁の好機を生かせず敗退した。

★ 第2日目 :【9月2日(日)】 第2回戦

E球場:毛呂山町大類ソフトボールパークA 第2試合 11:38 ~ 13:06 【試合時間 1時間28分】

No.22		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
関東学園大学		0	0	0	0	0	0	0				0	●池澤織乃、猪井玲那一福田裕香
東京女子体育大学		2	0	1	0	0	0	x				3	○平原かすみ一上野真友美

【先攻】--

【後攻】(本)山本絵梨奈

【戦評】

東京女子体育大は初回、山本の2ランで2点を挙げ、3回には一死満塁の好機に山田の左前適時打で1点を加えた。主戦平原が完封の好投で勝利した。関東学園は走者を出すも一歩及ばず敗れた。

□ ★ 第2日目 :【9月2日(日)】 第2回戦

F球場:毛呂山町大類ソフトボールパークB 第2試合 11:38 ~ 13:44 【試合時間 2時間06分】

No.23		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
武庫川女子大学		7	0	0	0	0	0	0				7	○内海花菜、穴澤早貴恵、若狭里絵、内海花菜一吉田美穂、平井遥香、吉田美穂
龍谷大学		0	0	0	3	0	0	1				4	●竹林 瞳、始澤菜摘一田井静華

【先攻】(二)川口 藍、川口亜祐美

【後攻】(二)長澤由里

【戦評】

武庫川女子大は、初回に打者12人・10安打の攻撃で7点を挙げ試合を優位に進め、内海・穴澤・若狭の3投手の継投で勝利した。龍谷大は、4回に3点、7回にも1点を返し、なおも一・二塁と粘ったが、序盤の劣勢を挽回しきれずに敗れた。

□ ★ 第2日目 :【9月2日(日)】 第2回戦

E球場:毛呂山町大類ソフトボールパークA 第1試合 8:55 ~ 11:14 【試合時間 2時間19分】

No.24		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
東海学園大学		4	4	0	0	0	0	1				9	河津かおり、○平松美妃、後藤菜緒子、勢村香織一久保亜希美
山梨学院大学		0	0	3	2	0	0	0				5	●畑迫遼子、酒井彩好一妹山玲奈、緑川静栄

【先攻】(三)久保亜希美、金子歩惟(二)光井綾香

【後攻】(二)吉井実優

【戦評】

東海学園大は、初回打者10人の攻撃で4点を先制し、続く2回にも久保、金子の三塁打を含む4本の安打を集めて4点を追加すると、小刻みな継投でリードを守り逃げ切った。山梨学院大は、3回3点、4回2点を返したが、前半の失点が響き敗れた。

文部科学大臣杯 第47回全日本大学女子ソフトボール選手権大会

□ ★ 第2日目 :【 9月2日(日)】 準々決勝

H球場: 鶴ヶ島市運動公園メイングラウンド 第3試合 14:16 ~ 15:49 【試合時間 1時間33分】

No.25		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	大阪大谷大学	0	0	0	0	0	0	0				0	●竹田有沙-森下舞
	園田学園女子大学	0	0	0	0	0	5	x				5	池田美樹、○泉礼花-岡恵利華

【先攻】--

【後攻】(三)中川なおみ(二)亀井愛梨

【戦評】

近畿勢の対戦となったこの試合は、園田学園女子大が6回裏、四球走者を足がかりに、中川の三塁打と亀井の二塁打などで、5点を挙げて均衡を破ると、このリードを泉が守って熱戦を制した。大阪大谷大は再三にわたって塁上に走者を送り、相手投手を攻めたが、あと一歩及ばず敗れた。

□ ★ 第2日目 :【 9月2日(日)】 第3回戦

G球場: 東松山市駒形公園ソフトボール場A 第3試合 13:36 ~ 15:26 【試合時間 1時間50分】

No.26		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	富士大学	0	0	0	0	0	0	1				1	●榎林菜実-郷間智美
	日本体育大学	0	0	1	0	1	0	x				2	○三木綾菜-澤井美佑

【先攻】--

【後攻】--

【戦評】

日本体育大は、3回に走者三塁から澤井のタイムリーで1点を先制。5回には澤井の2打席連続のタイムリーで1点を追加した。富士大の反撃を1点に抑え逃げ切り勝ち、準決勝に進出した。富士大は、7回満塁から押し出して1点を返すも、後続を断たれ惜敗した。

□ ★ 第2日目 :【 9月2日(日)】 準々決勝

F球場: 毛呂山町大類ソフトボールパークB 第3試合 13:43 ~ 15:21 【試合時間 1時間38分】

No.27		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	淑徳大学	0	0	0	1	0	0	0				1	●樋口麻知子-小嶋晶子
	東京女子体育大学	1	2	0	0	0	0	x				3	○平原かすみ-上野真友美

【先攻】(二)清水友子

【後攻】(二)山田静佳

【戦評】

東京女子体育大は、初回一・三塁の好機に山田の内野安打で1点を先制。続く2回一死一・二塁に走者を置き山田の二塁打で2点を加えた。序盤のリードを主戦樋口が1失点の好投で勝利した。淑徳大は4回に清水の二塁打で1点を返したものの、樋口を攻略できず、地元勢のベスト4入りはならなかった。

□ ★ 第2日目 :【 9月2日(日)】 準々決勝

E球場: 毛呂山町大類ソフトボールパークA 第3試合 14:21 ~ 16:05 【試合時間 1時間44分】

No.28		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	東海学園大学	0	1	0	0	0	1	0				2	○河津かおり、勢村香織-久保亜希美
	武庫川女子大学	0	0	0	0	1	0	0				1	●内海花菜-吉田美姫

【先攻】(二)石川千夏

【後攻】(二)瀬田美波

【戦評】

東海学園大は2回、死球を足がかりに犠打で三進した走者が、石川の左前安打で生還して1点を先制。6回には光井がバント安打で出塁すると、犠打で二進、粕谷の中前安打で光井の代走・山田が還り、勝ち越しに成功。この1点が決勝点となり、東海学園大が準決勝進出を決めた。武庫川女子大は、一旦は同点に追いつくもベスト4を前に力尽きた。

文部科学大臣杯 第47回全日本大学女子ソフトボール選手権大会

□ ★ 第3日目 :【9月3日(月)】 準決勝

E球場:毛呂山町大類ソフトボールパークA 第1試合 8:56 ~ 11:07 【試合時間 2時間11分】

No.29		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	園田学園女子大学	0	0	0	0	4	0	0				4	○泉 礼花ー清原奈侑
	日本体育大学	0	1	1	0	0	0	0				2	●三木綾菜、鈴木佑芽、高田彩也香ー澤井美佑

【先攻】(三)清原奈侑、古澤春奈

【後攻】――

【戦評】

園田学園女子大は、2点差を追う5回二死満塁から古澤の走者一掃の三塁打で逆転に成功、さらに亀井の左前打で1点を追加し一挙4点を挙げた。このリードをエース・泉投手の2点に抑える好投で守り、決勝進出を決めた。日本体育大は、2回に1点を先取、3回にも1点を加え、序盤の試合を優位に進めたが、決勝進出はならなかった。

□ ★ 第3日目 :【9月3日(月)】 準決勝

F球場:毛呂山町大類ソフトボールパークB 第1試合 8:56 ~ 10:36 【試合時間 1時間40分】

No.30		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	
	東海学園大学	0	0	1	0	0	0	0				1	●河津かおり、勢村香織ー久保亜希美
	東京女子体育大学	2	0	0	0	0	0	x				2	○平原かすみー上野真友美

【先攻】(二)吉田沙織

【後攻】(二)山田美樹

【戦評】

東京女子体育大は初回到、敵失で出塁した2走者が重盗と内野ゴロの間に還って先制すると、河津、勢村の継投でこの2点を守りきり勝利した。東海学園大は、3回に1点を返すもあと1点が遠く惜敗した。

□ ★ 第3日目 :【9月3日(月)】 決勝

E球場:毛呂山町大類ソフトボールパークA 第2試合 11:46 ~ 13:03 【試合時間 1時間17分】

No.31		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	5回コールド
	園田学園女子大学	0	5	0	3	0						8	○泉 礼花、池田美樹ー清原奈侑
	東京女子体育大学	0	0	0	1	0						1	●平原かすみ、金澤理沙、寺川亜美ー上野真友美、山保 彩

【先攻】(三)中川なおみ、川村可奈子、清原奈侑

【後攻】(二)北原史織

【戦評】

東日本と西日本の覇者の激突となった決勝戦。園田学園女子大は、2回に川村の三塁打など打者一巡の攻撃で5点を先取、4回にも3本の安打などで3点を奪った。このリードを泉・池田のリレーで守り、2年連続6回目の優勝を飾った。東京女子体育大は、追う4回に北原の二塁打で1点を返すも、反撃及ばず。2年ぶりの王座奪還はならなかった。